



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 サンコール株式会社

上場取引所 東

コード番号 5985 URL <https://www.suncall.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大谷 忠雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 企画・管理部門長 (氏名) 金田 雅年

TEL 075-881-5280

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	28,605	9.3	1,217		1,113		790	
2020年3月期第3四半期	31,547	9.8	1,070	65.0	1,159	65.0	1,201	44.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 644百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 1,002百万円 (43.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	25.00	
2020年3月期第3四半期	37.70	37.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	51,278	34,650	67.4	1,092.73
2020年3月期	50,921	35,913	70.4	1,133.98

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 34,576百万円 2020年3月期 35,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		9.00		11.00	20.00
2021年3月期		9.00			
2021年3月期(予想)				11.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の期末配当予想につきましては未定としておりましたが、期末配当予想を11円00銭、年間配当予想につきましては、20円00銭とさせていただきます。詳細につきましては、本日発表の「2021年3月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	5.6	1,270		1,020		370		11.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	34,057,923 株	2020年3月期	34,057,923 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,415,595 株	2020年3月期	2,452,873 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	31,628,764 株	2020年3月期3Q	31,865,954 株

(自己株式数 2021年3月期3Q 342,210株 2020年3月期 379,520株)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による大きな落ち込みから、各国防疫措置の段階的な緩和や積極的な財政・金融政策により、昨年4月を底として回復傾向が継続しております。しかし冬季を迎え新興国に加えて先進国でも感染拡大は加速しており、先行き不透明な状況が続いております。

また、わが国経済においても昨年6月以降は内需・輸出ともに持ち直しの動きがみられるものの、設備投資や雇用情勢は依然として厳しい状況にあり、冬季を迎え感染拡大が加速しており回復の下振れ懸念が増しております。

当社グループの主な事業領域である自動車分野は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界最大の自動車市場である中国で昨年1月後半から3月にかけて新車生産及び販売が大きく落ち込んだものの、昨年4月以降は回復基調となっております。一方、日本・中国以外のアジア・北中米・欧州など多くの地域では、昨年3月から感染者数が急増し、新車生産及び販売は大きく落ち込みました。世界全体としては昨年4月を底として5月以降徐々に回復基調となっておりますが、当第3四半期連結累計期間の新車生産・販売台数はともに前年同期を大きく下回る結果となりました。

また、電子情報通信分野では、データセンター向け投資に旺盛な需要が続いております。

当社グループの業績もこのような外部環境の影響を強く受け、自動車分野は大きく減少しました。電子情報通信分野はプリンター関連で減少したものの、HDD用サスペンションの需要が高水準を維持しており前年同期の販売を上回りました。この結果、売上高は286億5百万円（前年同四半期比9.3%減）となりました。

利益面では、減収の影響により営業損失12億17百万円（前年同四半期は10億70百万円の営業利益）となりました。また経常損失は11億13百万円（前年同四半期は11億59百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は7億90百万円（前年同四半期は12億1百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

《セグメントの業績》

[日本]

自動車分野では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う自動車メーカーの減産により、主要製品について、大幅に減少しました。また電子情報通信分野ではHDD用サスペンションの需要が高水準を維持しており、前年同期の販売を上回りました。

結果として、セグメント売上高は193億57百万円（前年同四半期比6.6%減）、減収影響及び設備投資に伴う減価償却費増加によりセグメント損失は12億56百万円（前年同四半期は7億77百万円のセグメント利益）となりました。

[北米]

メキシコ子会社、米国子会社の自動車関連製品ともに、4月から5月にかけてのロックダウンにより工場操業を停止したことにより前年同期比で大幅に減少しました。その結果、セグメント売上高は41億70百万円（前年同四半期比19.4%減）となりました。セグメント利益は、減収影響により7百万円（同94.2%減）となりました。

[アジア]

自動車分野は、新型コロナウイルス感染症の拡大により1月から3月で中国子会社の生産及び販売が大きく減少しました。中国子会社の生産及び販売は4月以降回復しておりますが、タイ子会社は4月以降新車販売・生産の減少により、販売が大きく減少しました。一方、電子情報通信分野は、通信関連で伸長したものの、プリンター関連は前年同期を下回りました。

結果として、セグメント売上高は60億6百万円（前年同四半期比12.8%減）、セグメント利益は5億4百万円（同29.8%減）となりました。

《製品区分別の売上業績》

製品区分の名称	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増 減	
	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日		自 2020年4月1日 至 2020年12月31日			
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
材料関連製品	3,782	12.0	3,642	12.7	△140	△3.7
自動車関連製品	19,079	60.5	15,212	53.2	△3,866	△20.3
自動車分野	22,861	72.5	18,855	65.9	△4,006	△17.5
HDD用サスペンション	4,178	13.2	5,849	20.4	1,671	40.0
プリンター関連	2,633	8.4	2,310	8.1	△322	△12.3
通信関連	673	2.1	770	2.7	96	14.4
電子情報通信分野	7,484	23.7	8,930	31.2	1,445	19.3
その他製品	1,200	3.8	819	2.9	△381	△31.7
合 計	31,547	100.0	28,605	100.0	△2,942	△9.3

(自動車分野)

[材料関連製品]

材料関連製品では、新型コロナウイルス感染症の影響による新車販売の大幅な減少により、前年同期比で減少しました。しかし、当連結会計期間に入り主にメキシコ・中国現地法人の売上高は急回復しております。その結果、売上高は36億42百万円（前年同四半期比3.7%減）となりました。

[自動車関連製品]

自動車関連製品では、次世代主力事業と位置付けた自動車電動化部品の中で、シフトバイワイヤー関連製品等一部の製品は前年同期比で増加しました。しかし、世界的な新型コロナウイルス感染症の影響による新車販売の大幅な減少と自動車メーカーの操業低下により、エンジン用・ミッション用部品を中心に前年同期比で大幅に減少しました。その結果、売上高は152億12百万円（前年同四半期比20.3%減）となりました。

(電子情報通信分野)

[HDD用サスペンション]

HDD用サスペンションは、データセンター向け投資が旺盛に推移しており高い需要が継続しております。3月以降、6月中旬まで新型コロナウイルス感染拡大に伴うフィリピン拠点の封鎖により、検査工程の所定人員確保が出来ず、顧客への出荷が減少しましたが、その後の挽回により売上高は58億49百万円（前年同四半期比40.0%増）となりました。

[プリンター関連]

プリンター関連は、家庭用において一時的な需要増加はあるものの、全体ではオフィス用途インクジェットプリンターの需要減の影響により、売上高は23億10百万円（前年同四半期比12.3%減）となりました。

[通信関連]

通信関連は、主な市場である北米・アジアにおける5G関連などの需要拡大の影響から、売上高は7億70百万円（前年同四半期比14.4%増）となりました。

(その他製品)

その他製品ではスマートフォン用部品販売が減少し、売上高は8億19百万円（前年同四半期比31.7%減）となりました。

なお、当社グループが次世代主力事業と位置付けた医療・介護分野では、昨年度発売を開始した歩行学習支援ロボット「Orthobot（オルソロボット）」が、実際のリハビリテーションの現場で使用開始されております。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

[資産]

総資産は512億78百万円（前連結会計年度末比3億56百万円増）となりました。これは主に、5GやIoTの進展などにより需要拡大が見込まれるHDD用サスペンションや、自動車関連への増投資による設備代金の支払いに加え、収益の減少等に伴い現金及び預金が26億56百万円減少した一方、株価回復により投資有価証券が11億32百万円、設備投資などにより有形固定資産が7億57百万円増加したほか、国外でのロックダウン等による活動制限からの再開に伴い販売も回復し受取手形及び売掛金が10億16百万円増加したことによります。

[負債]

負債は166億28百万円（前連結会計年度末比16億20百万円増）となりました。これは主に、外部借入れの返済等により長期借入金が2億37百万円減少した一方、新型コロナウイルス感染症による事業停滞への対応として短期借入金が17億62百万円増加したことによります。

[純資産]

純資産は346億50百万円（前連結会計年度末比12億63百万円減）となりました。これは主に、株価回復によりその他有価証券評価差額金が7億77百万円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失や配当により利益剰余金が14億30百万円減少し、また為替換算調整勘定が6億36百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、通期で売上高400億円（前期対比△5.6%減）、営業損失12億70百万円（前期は13億75百万円の営業利益）、経常損失10億20百万円（前期は13億36百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する当期純損失3億70百万円（前期は11億23百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）を見込んでおります。

連結業績予想の詳細につきましては、本日（2021年2月12日）公表いたしました「2021年3月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報について)

当社グループは日本・北米・中国・アジアにおいて生産及び販売活動を行っており、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が既に一部において発生しております。今後新型コロナウイルス感染症の拡大が世界各地、又は当社グループが事業展開している地域で継続する場合には、以下のリスクの拡大が想定されるとともに、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

①生産継続に関するリスク

当社グループ従業員の感染や生産地域の感染状況により、従業員の自宅待機や消毒などに必要な期間が発生したり、材料等調達先や物流面の問題により生産継続が出来なくなる可能性があります。

②顧客の生産動向に関するリスク

当社グループが販売活動を行っている顧客及びその地域の感染状況により、当社の販売に大きな影響を及ぼす可能性があります。

③消費動向に関するリスク

当社グループ連結売上高の約65%を自動車分野、約32%を電子情報通信分野が占めております。新型コロナウイルス感染拡大及びそれに起因する景気後退等が、最終製品の消費動向を減退させ、当社グループの販売に大きな影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,743	6,087
受取手形及び売掛金	9,444	10,460
商品及び製品	2,248	1,881
仕掛品	2,257	1,859
原材料及び貯蔵品	2,329	2,682
その他	773	1,182
流動資産合計	25,797	24,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,654	5,617
機械装置及び運搬具(純額)	8,493	9,278
その他(純額)	5,375	5,385
有形固定資産合計	19,524	20,281
無形固定資産	430	403
投資その他の資産		
投資有価証券	4,098	5,230
その他	1,071	1,208
投資その他の資産合計	5,169	6,439
固定資産合計	25,124	27,124
資産合計	50,921	51,278
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,938	5,769
短期借入金	381	2,144
1年内返済予定の長期借入金	710	780
未払法人税等	118	86
役員賞与引当金	—	23
賞与引当金	411	248
その他	4,039	4,525
流動負債合計	11,599	13,578
固定負債		
長期借入金	1,519	1,281
退職給付に係る負債	977	1,025
株式給付引当金	72	73
その他	839	669
固定負債合計	3,408	3,049
負債合計	15,008	16,628

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,823	2,823
利益剰余金	27,567	26,137
自己株式	△1,048	△1,027
株主資本合計	34,151	32,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,095	2,872
繰延ヘッジ損益	1	—
為替換算調整勘定	△327	△963
退職給付に係る調整累計額	△80	△74
その他の包括利益累計額合計	1,688	1,834
新株予約権	74	74
純資産合計	35,913	34,650
負債純資産合計	50,921	51,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	31,547	28,605
売上原価	26,623	26,201
売上総利益	4,923	2,403
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	533	463
報酬及び給料手当	967	960
役員賞与引当金繰入額	13	23
賞与引当金繰入額	51	50
退職給付費用	67	78
その他	2,220	2,044
販売費及び一般管理費合計	3,852	3,621
営業利益又は営業損失(△)	1,070	△1,217
営業外収益		
受取配当金	155	129
物品売却益	79	70
助成金収入	—	63
雇用調整助成金	—	51
その他	53	60
営業外収益合計	288	375
営業外費用		
支払利息	114	99
持分法による投資損失	47	16
為替差損	25	148
その他	11	7
営業外費用合計	198	271
経常利益又は経常損失(△)	1,159	△1,113
特別利益		
投資有価証券売却益	563	0
その他	3	1
特別利益合計	566	1
特別損失		
固定資産売却損	1	6
固定資産廃棄損	16	19
その他	0	—
特別損失合計	18	26
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,708	△1,137
法人税、住民税及び事業税	356	185
法人税等調整額	149	△531
法人税等合計	506	△346
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,201	△790
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,201	△790

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,201	△790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	112	777
繰延ヘッジ損益	△1	△1
為替換算調整勘定	△292	△638
退職給付に係る調整額	△7	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	1
その他の包括利益合計	△198	146
四半期包括利益	1,002	△644
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,002	△644
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	19,792	5,170	6,583	31,547	—	31,547
セグメント間の内部売上高 又は振替高	926	5	302	1,234	△1,234	—
計	20,719	5,176	6,885	32,781	△1,234	31,547
セグメント利益	777	124	718	1,620	△549	1,070

(注) 1 セグメント利益の調整額△549百万円には、セグメント間取引消去22百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△572百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の企画・管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	18,591	4,155	5,857	28,605	—	28,605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	766	14	149	929	△929	—
計	19,357	4,170	6,006	29,534	△929	28,605
セグメント利益又は損失(△)	△1,256	7	504	△744	△472	△1,217

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△472百万円には、セグメント間取引消去30百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△503百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の企画・管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 海外売上高

前第3四半期末連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

	米国	中国	フィリピン	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,332	2,902	4,179	6,522	16,937
II 連結売上高(百万円)					31,547
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.6	9.2	13.2	20.7	53.7

当第3四半期末連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

	米国	中国	フィリピン	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	2,360	2,940	5,036	6,457	16,795
II 連結売上高(百万円)					28,605
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	8.2	10.3	17.6	22.6	58.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 米国……………米国

(2) 中国……………中国

(3) フィリピン……………フィリピン

(4) その他の地域……………韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、インド、ブラジル、
メキシコ、ドイツ、スイス、ポーランド

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。